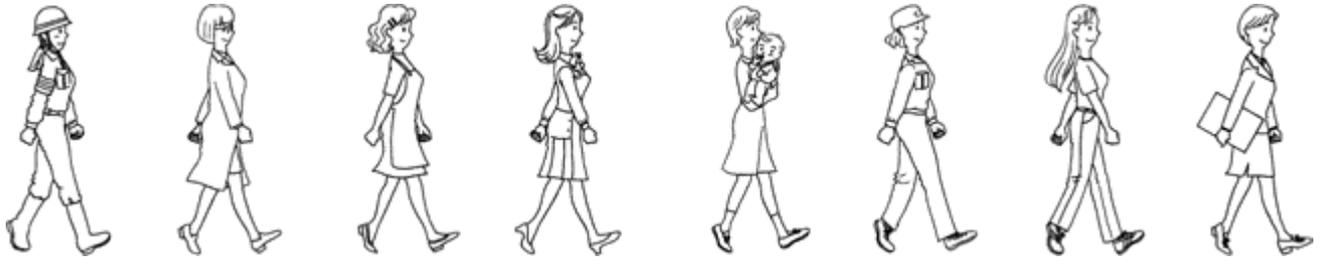


あなたの ライフスタイルを 応援します。



家事、子育て、家族の介護、仕事、

ボランティア・地域活動、勉強、趣味・スポーツ等々、

自分の人生を組み立てるパーツはたくさんあり、

それをどのようなバランスで組立てるかの選択によって、

私たちのライフスタイルは多様になってきました。

民主党は、どんなライフスタイルを選んだ人でも、

社会の一員として能力を十分に発揮し、

のびのびと生活できるような、

そんな社会システムづくりに取組みます。

その人が選んだライフスタイルの実現をはばむ

社会的なバリア(障害)をとりはずしていくことから始めます。



皆さんの中には、

「仕事の都合で夜遅くなることもあるけれど、
安心して子どもを預けられる保育所がない」、

「子どもが小学校に入ったので、
仕事に戻りたいけれど職業スキルに自信がない」、

「地域の環境問題のボランティア活動を
もっと広げたいけれど、資金的に余裕がない」
と困っている方は少なくないのではありませんか。

民主党はそうした不安や不満に応えていきます。



「育児休業中の家計が心配。」



育児・介護休業期間中の所得保障を 現行の25%から60%に引き上げます。月給20万円の人なら、5万円しか給付がなかったところ、12万円に増えます。社会全体に育児・介護休業制度が普及し、男性も育児・介護休業をとりやすくなります。

「安心して子どもを預けられるところがない。」

低年齢児保育、延長保育、一時預かり保育、ベビーシッター... 親が求めている保育サービスのニーズは多様です。そうした要望にこたえて、公立の保育所のサービスを拡充します。子育ての終わった主婦などが所定の講習を受けて 自宅で子どもを預かれるようにしたり、育児・託児サービス関連の新規起業者に対し法人税免除などの優遇措置をはかり、育児・託児分野への民間の参入を支援します。利用者が選択可能な保育料助成制度を検討します。



「子どもが小学校に上がったから再就職したいけれど、パソコンに自信がないからだめかな。」

在職中の人にも、求職中の人にも、**職業スキルを習得しやすくします。**
職業能力訓練・教育を受講した人に対して費用の一部助成を拡充します。
職場復帰を円滑にするために職場での訓練の質を高めます。在宅就労者、派遣労働者向けの能力開発の機会を提供します。

「パートだと、フルタイムの人と同じ仕事をしても格下に扱われるのよね。」

パートタイマーの大半が女性です。

フルタイムで働く人よりも賃金・処遇面で不利になっていますが、**パートタイマーが正規従業員と均等な処遇・賃金を得られるように改善を求めます。**

家庭生活などと仕事を両立するしようとする、パートタイマーが安心して働き、やり甲斐をもてるようにします。

「晴れた日にはふとんが干せていいのにな。」

最近、ソフトウェア開発やデータ入力、翻訳、編集などを自宅で請け負う在宅就業者や、自宅で事業を起こす人(SOHO)が増えています。

在宅就業者に対する能力開発の支援や発注事業者との契約に関する情報提供など、在宅就業者・起業家を支援します。

在宅勤務にかかせない**通信インフラを整備し、通信料金を引き下げます。**

「ほかにも心配なことがあるんですけど…」

こんなことも考えてます。

○小学校・中学校の教員のキャリア形成に力を入れ、
教育界以外からの人材を投入して教育現場を活性化します。



○高校・大学・大学院の奨学金は親の所得制限などの
給付条件を緩和して、親の教育費負担を軽くします。
給付生を増やし学習意欲を高めます。

○医療や医療保険は、利用者本意の制度に改革します。
環境ホルモンやダイオキシンについて、
本格的な調査を行ない情報をすべて公開し、早急に対策を講じます。
遺伝子組換え食品の表示問題に取り組めます。



○NPOに対する寄付金控除や郵便料金、公共料金の割引を実施し、
環境、福祉、子育て支援などの分野でのNPO活動を支援します。

○公民館活動を充実させたり、大学図書館、校庭や体育館を開放して
身近なところで生涯学習・文化活動、スポーツを楽しむ機会を増やしま
す。

あなたのライフスタイルを応援します

